

事業目的

- + 国内青年のグローバル力量強化と海外進出の機会提供
- + 次世代のハンサン育成及び韓国人の経済領土拡張

事業概要

- + **事業名:** ハンサン企業の青年採用インターンシップ
- + **主観:** 在外同胞財団(外交部傘下公共機関)
- + **選抜人員:** 135名
- + **インターン期間:** 180日
- + **募集分野:** デザイン、貿易、行政、技術職など
- + **勤務国:** アメリカ、アジア、ヨーロッパ、中南米など

事業日程及び参加方法

- + ハンサン企業の青年採用インターンシップは年2回募集及び選抜します。

区 分		日 程	備 考
12期 (6月~9月)	参加企業募集	6月 21日 ~ 7月 5日	企業発掘
	企業資格審査	7月 6日 ~ 7月 20日	書類検討、現場実査
	参加インターン募集	7月 21日 ~ 8月 4日	
	インターン資格審査	8月 5日 ~ 8月 19日	財団、企業
	インターン面接	8月 30日	企業、国内
	合格者教育	9月 6日 ~ 9月 10日	5日、集合教育
13期 (8月~11月)	参加企業募集	8月 16日 ~ 8月 27日	企業発掘
	企業資格審査	8月 30日 ~ 9月 10日	書類検討、現場実査
	参加インターン募集	9月 13日 ~ 9月 27日	
	インターン資格審査	9月 28日 ~ 10月 14日	財団、企業
	インターン面接	10月 21日	企業、国内
	合格者教育	11月 1日 ~ 11月 5日	5日、集合教育
	出国	11月 8日 ~ 22年 1月 30日	

※上記日程は、事情により変動可能であり、詳しい日程は期数別募集広告をご参考ください。

- + 「ハンサンネット」ホームページ(www.hansang.net)のお知らせを参考
- + 在外同胞財団ハンサン事業部(gotogether@okf.or.kr)(+82-64-786-0284,0287)

インターン採用企業の要件

- + 現地事業者登録になっている、年売上100万ドル以上
- + 常時従業員10人以上
- + インターンの現地適応及び実務教育可能
- + インターンの業務として、事務職または専門職が提供可能(単純サービス、倉庫管理、ラベル作業など単純な労務不可)
- + 毎月US\$600以上支給
※ ワーキングホリデービザ締結国の場合は、最低時給の保証が必修
- + 雇用可能なビザ取得の支援企業及びインターン修了の後、正社員雇用が可能な企業を優先選定

在外同胞財団の支援(インターン採用企業に支援)

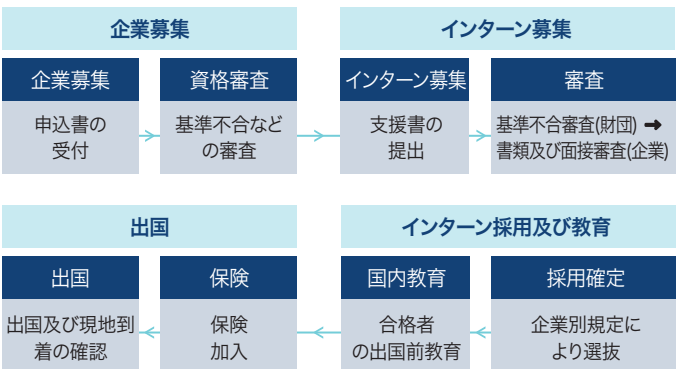
- + 雇用可能なビザ取得の支援
 - ・支援対象:インターン出国の前、雇用可能なビザ取得の支援企業
※ 米国J1ビザ、ワーキングホリデービザ国は除外
 - ・支援内訳:ビザ取得のため、企業負担費用の一部支援(1人最大1,000ドル)

+ 国内面接支援

区分	詳しい内容
支援基準	最小3人以上の面接と1人以上の採用企業
支援内訳	往復航空運賃、宿泊(2泊、2人1室)、面接場所 ・勤務国⇄韓国往復航空運賃(エコノミークラス、GTR上限額の支援) ・主観機関から定めた宿泊施設 ※ 宿泊施設、面接場所など後程お知らせ ※ 支援基準不足の時、支援不可

- ※ 面接支援に対する詳しい事項は、期数別募集広告をご参考ください。
- ※ 当該企業が自主的にWEB面接または電話面接を通じて採用することも可能。

推進手続き



主な事業ガイドライン

+ インターン期間

インターン期間は勤務初日から180日(6ヶ月)です。

+ 週の勤務日数と時間

企業はインターン社員と最終協議した勤務時間及び勤務日数を必ず守らなければならない。事情により夜勤と連長勤務時インターン社員の同意を求めなければならない。夜勤と連長勤務による手当と振替休日などを支援するべきである。

+ インターン職務

インターンの職務は、必ずインターン申込書に記載した職務を割り当てなければならない。事前面接審査時のインターン志願者との協議に基づいて技術職、現場職、サービス職などで割り当てが可能。

+ 企業負担金

企業側は、インターン申請書に記載した企業負担金をインターン社員に支給しなければならない。現金で支給する場合は、毎月決まった日に支給すること。
※ ワーキングホリデービザ締結国の場合、最低時給保証は必須。

+ 解雇

解雇時服務規定違反について、警告状または事由書をインターンに少なくとも2回以上提出した後、解雇することができる。

+ 申込書の虚偽記載

申込書の内容を虚偽で記載した場合には、インターンシップ中断とインターン企業のガイドラインに基づいてペナルティが適用される。

+ 協議事項の一方変更不可

本インターンシップは、企業とインターン社員の両方の協議の下に進行され、インターン申込書と面接時の最終協議された事項について、一般的な変更が不可能である。やむを得ない勤務条件や支援事項などの変更がある時は、必ずインターン社員および運営機関(在外同胞財団)と事前協議後に変更しなければならない。

+ ペナルティ

本インターンシップは、運営規定違反などでインターンシップが継続実行が難しいと判断される場合には、審議委員会を構成し、審議を通じて警告や資格剥奪などが決定され、資格剥奪の場合は、次のようなペナルティが発生する。

- 1) 本インターンシップに2年間参加不可
- 2) 政府機関に制裁措置の通知
- 3) 国内面接行事の出席による支援金(航空運賃、宿泊料、食事代)全額返還

FAQ(よく問う質問)



Q. インターン選択プロセスはどんな方式ですか?

A.



先に在外同胞財団から企業を募集し、企業が申し込んだ採用内容に応じて志願者を公開募集します。その後、募集された志願者の履歴書を企業に送付します。企業はインターン志願者の書類審査と面接審査を行い最終選抜します。



Q. 企業負担金はありますか?

A.

企業負担金は、インターン期間中、毎月少なくともUS\$600相当の現金をインターン志願者に直接支給しなければならない。但し、ワーキングホリデー協定国の場合は、必ず当該国家の最低時給を支給しなければならない。



Q. 航空券とビザはどうするですか?

A.

航空運賃とビザ発行費はインターン志願者の自己負担であり、ビザの発行に必要な行政支援は企業から支援することになります。



Q. ビザ発行の支援は何ですか?

A.

- ・選抜されたインターンが出国前に、雇用可能なビザ取得を支援する企業に支援する事項です。
- ・支援条件:インターン出国前の雇用可能なビザ取得の支援企業
- ・支援の内訳:ビザ取得のための企業負担金の一部支援(1人最大1,000ドル)
※ 米国J1ビザ、ワーキングホリデービザ対象国、シンガポール・ワークパーミットを除く



Q. 面接のための出張支援は何ですか?

A.

- ・インターン社員の最終選抜のために定められた国内面接日に出席する場合には、企業に支援する事項です。
- ・支援対象:少なくとも3人以上の青年インターン志願者の面接を行い、少なくとも1人以上の青年インターンを最終選抜する企業
- ・志願内訳:往復航空運賃と2泊の宿泊施設を提供
(航空:勤務国-韓国間の往復航空運賃、エコノミークラスのGTR上限額の支払い)
(宿泊施設:在外同胞財団が定めた宿泊施設2人1室)
- ・面接日程:事業日程を参考



Q. インターン社員を申込み、条件無しで選抜することができますか?

A.

インターン申込書を提出しても採用が確定したわけではなく、企業から提出された申込書に基づいて志願者を募集します。志願者がいない場合には、インターン社員選抜と採用は不可能です。



Q. どのようなインターン志願者が申し込みますか?

A.

本インターンシップは、インターン企業から申請した採用情報をもとにしてインターン社員を募集しており、すべての志願者の共通資格条件は、①ビザ取得または海外旅行に欠格事由がない者②ハンサン企業を通じた海外進出に関心のある者③34歳(募集公告日基準)以下の卒業生または最終学年在学中の者で研修終了後、卒業および海外就職が可能な国内青年などです。



Q. 1週間のインターンシップ日数と労働時間はどうなるのですか?

A.

1週間のインターン勤務日数と勤務時間は、企業運営方針に基づいて決定され、明確な勤務日数と時間をインターン申込書に表記してください。このインターンシップは、週5日、週40時間を原則に、インターン志願者と事前協議し、勤務日数と時間は調整可能です。



한상기업과
국내 청년을 지원하는

한상기업
청년채용
인턴십

Overseas
Korean
Business
Youth
Internship

한상기업 청년채용 인턴십은
국내 청년들의 해외 진출 기회를 제공하고
한상기업에 국내 우수인력을 소개하는 사업입니다.

한상기업의 청년採用インターンシップは、
国内青年たちの海外進出機会を提供し、
ハンサン企業に国内の優秀な人材を紹介する事業であります。

